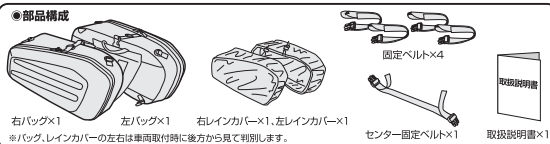


SPORT SHELLCASE

スポーツシェルケース〈取扱説明書〉

この取扱説明書をよく読みの上、安全に正しくご使用ください。
ますようお願いいたします。
この取扱説明書はお読みになった後も、いつでも見られるように大切に保管してください。



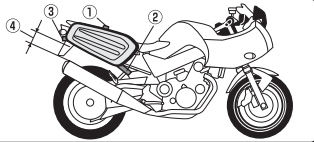
補修パーツ(消耗品パーツ)のご案内		
部品番号	名 称	セット数
オプション MP-103	ショルダーベルト	1本
MP-284	固定ベルト	1本
MP-285	センター固定ベルト	1本
MP-286	右レインカバー	1枚
MP-287	左レインカバー	1枚
オプション MP-452	セフティベルト	1本

■お求めはお近くの「モトフィズ」取扱店にご注文ください。

取付方法

はじめに(サイドバッグ取付時のチェックポイント)

- ①センター固定ベルト:左右のバッグを接続し、前後、上下の位置を決めるベルトです。シートより少し高く、平行になる様に、固定ベルトで固定します。
- ②固定ベルト(フロント):高速等で左右のバッグが浮き上がるのを防ぐ為のベルトです。これをしないとバッグが後方になります。
- ③固定ベルト(リア):バッグが前後にずれたり、内側に入り込むのを防ぎます。法令等に抵触する場合がありますのでウインカー、テールランプ、リフレクター等が隠れないように取付けてください。
- ④マフラーとの接触を避けて、排気管が直接当たらない様に距離をとります。高温になるとバッグだけでなく、荷物に支障が出る事があります。

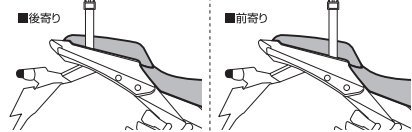


1 センター固定ベルトの装着

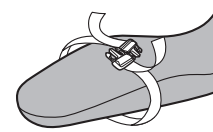
バックルの裏を上面にし、センター固定ベルトをシートの下に挟みます。この時、サイドバッグの前後位置とシート裏の凹凸を避け、フック等にベルトをさはさない様になります。



固定ベルトがセンター1本止めとなって、扱い易さ、調整幅が増えております。車両に合わせて前後位置を調整してご使用ください。



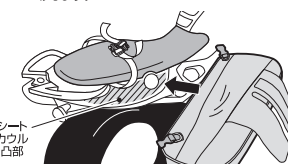
2 バッグが取付けしやすいようにセンター固定ベルトをシートの上に置きます。



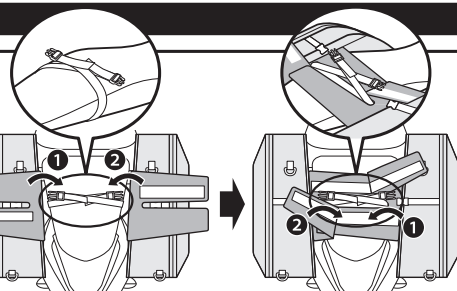
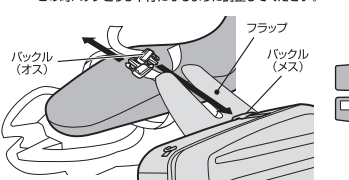
2 バッグの装着

①シートへの装着

1 シートカウルの凹部分に合わせてバッグの凹部分(ネオフレン部分)を合わせます。この時、車両の前後に合わせ右バッグ、左バッグを選択取付けします。



2 センター固定ベルトをフラップのセンタースリットから出し、左右のフラップを引っ張りながら、フラップを貼り合わせます。この時バッグどうし平行になるように調整してください。

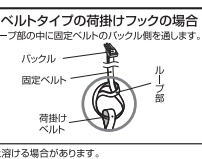
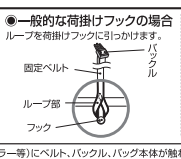
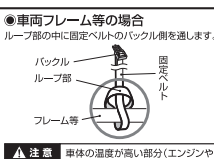
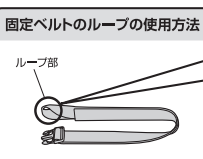
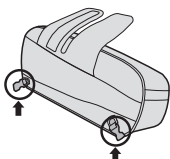


3 ベルトを交差しながら反対側のバッグ上面のバックルを取付け、ベルトの長さを調整してください。



②バッグ下部の固定

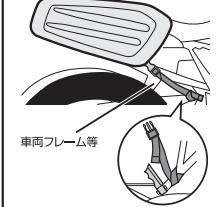
必ず固定ベルト、セフティベルトを使用して、バッグの下部(➡)を固定してください。



▲注意 車体の温度が高い部分(エンジンやマフラー等)にベルト、バックル、バッグ本体が触れる場合があります。

フロント側 バッグ前側の固定

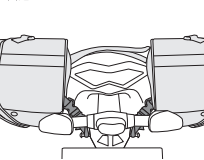
車両フレームや荷掛けフック、セカンドステップ等に固定します。



リア側 下記より取付方法を選択しバッグ後側の固定

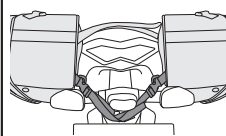
荷掛けフックがある車両

車両フレームや荷掛けフックに固定します。

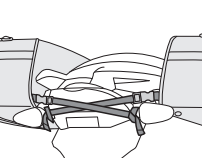


荷掛けフックが無い車両

●固定ベルトを1本にして取付けする場合
ループの一方に固定ベルト2本を1本にしたもの(※上記ベルトタイプの荷掛けフックの場合参照)をリア側左右に渡して浮き上がりを防止します。

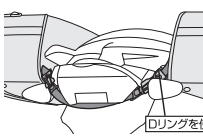


●固定ベルトを交差して取付けする場合
ウインカーやフレームを利用して反対側のバッグのバックルに接続して、固定します。



オプション セフティベルトを使用する場合

バッグに付いているDリングを使用して左右バッグを接続し、固定します。

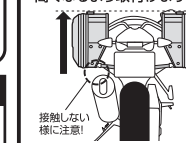


▲警告

- 固定ベルト、セフティベルトの取り回しは、ホイールやチェーン等可動部分に絶対に接触しないようにしてください。●余ったベルトはホイールやチェーン等可動部分に絶対に接触しないよう安全な部分に巻き付けてください。●取付後、及び乗車前には必ず、安全な運転に支障がないか確認してください。●上記の取り付け方を守らないと、車両等の重大な事故を引き起こす可能性があります。

Point

バッグが出来るだけ高くなるよう取付けます。



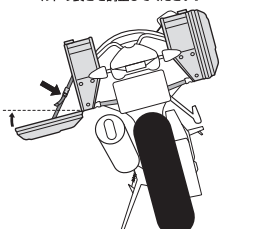
▲注意

法令等に抵触する場合がありますのでウインカー、テールランプ、リフレクター等が隠れないように取付けてください。

使用方法

1 積載方法

1 荷物が落ちないように車両の傾きを考慮してベルトの長さを調整してください。

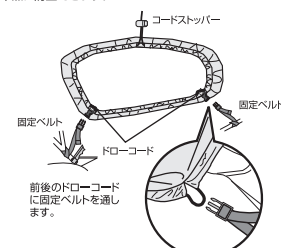


2 ウェア類などの荷物は出来るだけハードケース側のメッシュホルダーで固定します。



2 レインカバーの装着と脱落防止

レインカバーはコードストッパーを上にして装着します。下部にある固定バックルをドローコードに通す脱落を未然に防止できます。



▲警告

余ったコードはホイールやチェーン等可動部分に絶対に接触しないよう安全な部分に巻き付けてください。

▲注意

レインカバーは、内側からの飛沫は防げませんので、完全防水を希望する場合は、バッグ内の荷物をビニール袋に入れるなどの対策をしてください。

3 その他

上面積載用Dリング

別売のツーリングネットを利用する事によって、ウェアやバッグなどの積載が可能。ショルダーベルト用Dリングも兼ねています。

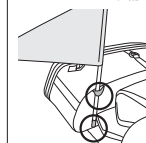


オプション ショルダーベルト

前後のDリングを使用して、ショルダーベルトが利用できます。

フラッグホルダー

ツーリング先などで、入手したフラッグを差し込めるフラッグホルダーを装備。



▲注意 上面に荷物を積載したままの場合、レインカバーは使用できませんので、ご了承ください。

▲使用上の注意

- 法定速度以上の使用はお避けください。
- 最大積載量を超える積載は脱落や車両の振動の恐れがあるためお避けください。
- 走行による振動等で固定ベルトが緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。
- 角が鋭い重荷物を入れたり、内装が破損する恐れがあります。その場合は、バックル等で包んで収納してください。
- 火災の原因になりますので、携帯カランボム、ガスボンベ等引火性の強い危険物は収納しないでください。
- 林道や砂利道などの荒れた路面では振動でバッグが脱落する恐れがあります。路面の状況やスピードに充分注意して走行してください。
- バッグは生地や縫製方法など通常の使用での耐久性は充分に考慮されていますが、着脱時、ファスナーやボタンの開閉、バックルの扱いなどで無理な力を加えたり無理な扱いをすることで破損する恐れがあります。大切に扱いください。
- レインカバーは付属していますが完全防水ではありません。長時間雨中使用される場合には、予め中の荷物をビニール袋に入れる等の対策を行ってください。
- 上面積載用Dリングを使用する場合、積載状態が不安定にならないように、確実に装着してください。また、上面に荷物を積載したままの場合、レインカバーは使用できませんので、ご了承ください。
- フラッグシートカウルに接触する場合は使用出来ませんのでご了承ください。
- また、走行風により荷物が揺れる場合には、使用をお避けください。
- 寸法・容量等の表記につきましては、個体別の誤差が生じる場合がございますので予め御了承ください。
- 仕様は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わずに誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いませんのでご了承ください。

保管とお手入れの方法

- 表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取って、良く乾燥させてください。
- 雨天走行等で濡れた場合は、そのまますせしバッグ内外の汚れと水分を拭き取りすべてのファスナーを開いて、日陰の風通しの良い所で乾燥させてください。
- 保管の際は乾拭き・陰干しをしてから温度、湿度が低い風通しの良い場所に保管してください。

▲注意

ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用、及び水などの流れ込みは生地を傷める原因となりますのでお避けください。

ST1130151